

重

点

戦

略

おいでませ！「宿泊者数500万人戦略」

大河ドラマ「花燃ゆ」の放送決定を契機に、平成30年に迎える明治維新150年に向け、全国に誇る歴史文化、食、温泉など、本県の魅力を生かしたプロモーションを展開するとともに、経済効果の高い外国人観光客やクルーズ船誘致の積極的な推進により、年間延べ宿泊者数500万人の実現を図ります。

プロジェクト

- ◇明治維新150年に向けた観光需要の拡大
- ◇外国人観光客倍増に向けた国際観光の推進
- ◇クルーズ船の誘致推進

プロジェクト	No	明治維新150年に向けた観光需要の拡大
	1	

目標	「明治維新」の観光ブランド化による宿泊客の増加 ≪ 年間延べ宿泊者数500万人以上 ≫
----	--

現状と課題

- 全国に誇る恵まれた観光資源
 - ・ 萩、秋芳洞、錦帯橋や瀬戸内海、日本海などの歴史遺産や自然景観のほか、ふく料理をはじめとする郷土料理
- 山口県をイメージするブランド力が不足
- 大河ドラマ「花燃ゆ」の平成27年放送が決定

取組方針

- 大河ドラマ放送(平成27年)決定を契機に、明治維新150年(平成30年)まで、官民が一体となった全県的な観光キャンペーンを展開します。
- 「明治維新」をテーマに、歴史、文化資源をはじめ、食や自然、温泉など、山口県の有する多彩な魅力を生かした観光ブランドの構築と戦略的なプロモーションにより認知度を高めます。
- 新たな観光資源や観光ルートの開発等により、国内外からの誘客拡大を図ります。

具体的な取組

取組	<ul style="list-style-type: none"> □ 推進体制の整備とキャンペーンの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大河ドラマ放送決定を契機とした官民一体となった観光キャンペーン「やまぐち幕末ISHIN祭」の推進(～H27「第1章」・H28～H30「第2章」) □ 「維新ブランド」の構築とプロモーションの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「デスティネーションキャンペーン」の誘致活動 ・ メディア等を活用した戦略的な情報発信 □ 「維新ツーリズム」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ やまぐちの「食」、「温泉」等を活用した新たな観光資源、観光ルートの開発等 ・ 大河ドラマ館の整備支援 ・ 周遊促進に向けた二次交通アクセス等の充実 ・ MICEの誘致活動の強化(「明治維新150年」の活用) □ 「平成の薩長土肥連合」の設立と共同キャンペーンの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島県、高知県、佐賀県と連携した誘客活動 																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組</th> <th>平成25年度 (実績)</th> <th>平成26年度 (実績)</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進体制の整備とキャンペーンの展開</td> <td>大河ドラマプロジェクト「花燃ゆ」決定(12月)</td> <td>大河ドラマプロジェクト「花燃ゆ」推進委員会(6月)</td> <td>「第1章」(H26～27)</td> <td>「第2章」(H28～30)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">「維新ブランド」の構築とプロモーションの強化</td> <td></td> <td>メディア等を活用した戦略的な情報発信</td> <td>「花燃ゆ」放送(1月～)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>「デスティネーションキャンペーン(DC)」の誘致活動の展開</td> <td>H29年の開催が決定</td> <td>推進体制の確立</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>「明治維新」をテーマとした観光ブランドの構築(専用HPの開設、交通事業者とのタイアップ)</td> <td>プレDCの開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>フィルムコミッションの強化及びロケ地誘致の推進</td> </tr> </tbody> </table>	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度	平成28年度	推進体制の整備とキャンペーンの展開	大河ドラマプロジェクト「花燃ゆ」決定(12月)	大河ドラマプロジェクト「花燃ゆ」推進委員会(6月)	「第1章」(H26～27)	「第2章」(H28～30)	「維新ブランド」の構築とプロモーションの強化		メディア等を活用した戦略的な情報発信	「花燃ゆ」放送(1月～)			「デスティネーションキャンペーン(DC)」の誘致活動の展開	H29年の開催が決定	推進体制の確立			「明治維新」をテーマとした観光ブランドの構築(専用HPの開設、交通事業者とのタイアップ)	プレDCの開催				
取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度	平成28年度																								
推進体制の整備とキャンペーンの展開	大河ドラマプロジェクト「花燃ゆ」決定(12月)	大河ドラマプロジェクト「花燃ゆ」推進委員会(6月)	「第1章」(H26～27)	「第2章」(H28～30)																								
「維新ブランド」の構築とプロモーションの強化		メディア等を活用した戦略的な情報発信	「花燃ゆ」放送(1月～)																									
		「デスティネーションキャンペーン(DC)」の誘致活動の展開	H29年の開催が決定	推進体制の確立																								
			「明治維新」をテーマとした観光ブランドの構築(専用HPの開設、交通事業者とのタイアップ)	プレDCの開催																								
				フィルムコミッションの強化及びロケ地誘致の推進																								

工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度	平成28年度
	「維新ツーリズム」の推進	<p><滞在型観光資源の充実></p> <p>・全国に誇る食等を活用した滞在型観光商品の開発 ・統一テーマに沿った景観整備、サービスの充実</p> <p>大河ドラマ館整備支援 ● 萩市・防府市でオープン(1月)</p> <p>● 宣伝素材・パスポートブックの作成、観光アプリの開発、おもてなしの充実</p> <p><二次交通アクセス等の充実></p> <p>アクセス状況調査 → 二次交通アクセス改善策の検討・実施</p> <p><MICEの誘致活動の強化></p> <p>● 専門職員の配置(4月) → ● 検索サイト開設(5月) 内容充実(受入施設情報等)</p> <p>● 誘致支援 → 大型学術会議等の誘致獲得</p>			
「平成の薩長土肥連合」の設立と共同キャンペーンの展開		● 関係4県連絡会議(総会)の開催(2月)	● 連絡会議(総会、PT)の開催	● 「平成の薩長土肥連合」の設立 ● 共同プロモーション等の展開	● 「薩長土肥スタンプラリー」の実施(H28.1月～H30.12月)

事業の概要

年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	
推進体制	<p>やまぐち幕末ISHIN祭プロジェクト推進委員会</p> <p>官民一体(行政、観光・商工・交通運輸・宿泊旅行関係団体等)で構成</p>					
キャンペーン	<p>やまぐち幕末ISHIN祭</p> <p>← ~第1章~ → ← ~第2章~ →</p>					
取組の方向性	<p>明治維新150年(平成30年)に向け観光需要を拡大</p> <p>◆「維新ブランド」の構築とプロモーションの強化 ◆「維新ツーリズム」の推進等</p>					
トピック等	大河ドラマ放送決定	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマ放送 世界スカウトジャンボリー 世界遺産登録 日本ジオパーク認定 ねんりんピック 	<p>以下を活用し、継続的なキャンペーンを展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成の薩長土肥連合 幕末維新関係周年行事 デスティネーションキャンペーン JR西日本豪華寝台列車「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」 JR西日本SLやまぐち号(旧型客車の復刻等) <p>等</p>			

プロジェクト	No	外国人観光客倍増に向けた国際観光の推進
	2	

目標	外国人延べ宿泊者数の倍増 《平成24年 4万人 → 平成28年 8万人》
----	---

現状と課題

- 山口県を訪れる外国人宿泊者数が低迷
 - ・平成24年 全国35位 宿泊旅行統計調査(観光庁)
- 海外における山口県の認知度が不十分
- 平成27年に「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録されたが、観光地、観光施設等における案内表示など、外国人観光客の受入体制が不十分

取組方針

- 民間と一体となった推進体制の整備・充実を図るとともに現地マスメディアやインターネットを活用した山口県の魅力発信を推進します。
- 留学生等を活用した多言語化の促進等、東京オリンピックを見据えた、外国人観光客の受入体制の充実を図ります。
- 世界文化遺産の登録やジオパークの認定等、海外における認知度の向上を図ります。
- 山口宇部空港への国際定期便を実現し、外国人観光客の増加に弾みをつけます。

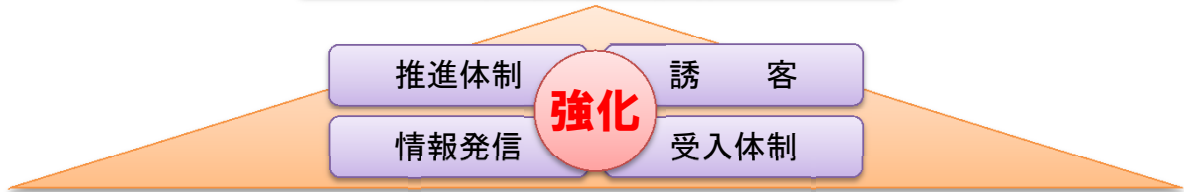
具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> 訪日旅行推進体制や戦略的な情報発信、誘客の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・民間と一体となった推進体制の整備・充実 ・誘客ターゲットの拡大、訪日旅行商品造成支援策の強化 ・海外メディア(TV、雑誌)、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の活用 <input type="checkbox"/> 訪日旅行者の受入体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・多言語案内表示、無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境等の整備促進 ・県内留学生等の活用 ・消費税免税店の拡大に向けた情報提供の推進 <input type="checkbox"/> 世界文化遺産やジオパークを活用した認知度の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産を活用した情報発信 ・「Mine秋吉台ジオパーク」の世界ジオパーク認定に向けた支援 ・「萩ジオパーク」の日本ジオパーク認定に向けた支援 <input type="checkbox"/> 山口宇部空港における国際定期便の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった戦略的な誘致活動の展開 				
	工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度
	訪日旅行推進体制や戦略的な情報発信、誘客の強化			推進体制の整備・充実	現地プロモーターの配置
		誘致対象拡大(タイ)		欧米等誘致ターゲットの拡大	
		訪日旅行商品造成支援策の強化(国際定期航路、国際チャーター便の活用)			
		海外メディアの活用 TV(韓国) 雑誌(台湾)等 SNSページ開設		海外メディア、SNSを活用した情報発信	
			スマートフォン向け観光アプリの開発	アプリによる情報発信	
			要望(6月)	要望(11月)	

取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度	平成28年度	
訪日旅行者の受入体制の充実		ホテル等受入施設の拡大、観光案内設備等の充実		コーディネーターの配置	
	留学生ネットワークの構築・活用による受入体制強化 ● 要望 (11月)	Wi-Fi環境 5か所整備促進	「やまぐちFree Wi-Fiプロジェクト」による整備促進	消費税免税店の拡大に向けた情報提供の推進 ● 多言語コールセンターの設置	
世界文化遺産やジオパークを活用した認知度の向上	<「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産> ● 要望 (6月)	● 国内候補決定(9月)	● 山口県世界遺産登録推進実行委員会の設置(6月) ● 要望(6月)	● 登録決定(7月)	● 世界遺産を活用した情報発信
	<Mine秋吉台ジオパーク> ● 要望 (6月)	● 山口県美祿ジオパーク支援会議の設置(11月)	● Mine秋吉台ジオパーク推進協議会への参画強化(4月)	● 日本ジオパークに認定(9月)	● 世界ジオパーク認定に向けた支援 <萩ジオパーク構想> ● 日本ジオパーク認定に向けた支援
山口宇部空港における国際定期便の実現	国際連続チャーター便 ● 10往復(韓国)		誘致活動の展開 ● 22往復(韓国)	● 国際定期便の実現 46往復(韓国)	

事業の概要

外国人延べ宿泊者数の倍増
(4万人→8万人)



韓国TVCM撮影



多言語ウェブサイト



SNSページ



商談会(台湾)



歓迎受入



松下村塾(世界文化遺産)



秋吉台(日本ジオパーク)



国際定期便実現を目指す

プロジェクト	No	クルーズ船の誘致推進
	3	

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船寄港回数の倍増 《H28年 20回》 ・大型クルーズ船(7万トン級以上、定員1,000人超)の県内初寄港の実現
----	--

現状と課題

- クルーズ船利用者は、近年、世界的な市場拡大や船舶の大型化を背景に着実に増加
- 本県は、三方を海に開かれ、大小多くの良好な港を抱えており、それぞれの港の背後地には多彩な観光地が存在
- 平成27年の世界文化遺産登録や、平成30年には明治維新150年を迎えるなど、本県の注目度を飛躍的に向上させる絶好の時期
- クルーズ船誘致に向けては、県、市町、関係機関が一丸となって、船社等へ観光地、イベント、港湾施設等の情報発信を行い、戦略的なセールスを展開することが不可欠

取組方針

- 県、市町、関係機関と連携して推進体制を構築し、船社等へのニーズに対応するほか、一丸となった誘致活動を推進します。
- 県内の観光地やイベント、港湾情報等をデータベース化し、情報発信するなど、戦略的なセールス活動を展開します。
- 港湾施設の一般開放による住民参加のイベント開催や、市町等の広域連携によるおもてなしの支援、消費税免税店の設置等、寄港時におけるおもてなしの向上に努めます。
- 大型クルーズ船(7万トン級以上、定員1,000人超)の航行安全を検討し、寄港環境を整備します。

具体的な取組

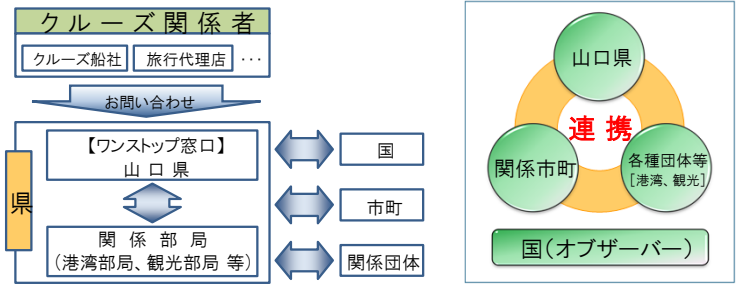
取組	<ul style="list-style-type: none"> □ 県、市町、関係機関が一丸となった誘致活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、市町、関係団体等による「クルーズやまぐち協議会」の設置 ・ 船社等への情報発信・誘致活動、「ワンストップ窓口」の設置 □ 船社等への港湾情報、観光地、各種イベント等の情報発信、戦略的なセールス活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専用ホームページによる情報発信 ・ 国内外の船社等への戦略的なセールス活動の展開 ・ 「世界文化遺産」、「明治維新150年」などテーマ性のあるクルーズ向け周遊ルートの開発 ・ 港湾・観光情報を一冊にまとめたクルーズ船寄港のためのガイドブックの作成 ・ 船内食事への県産品等の売り込み □ 寄港時におけるおもてなしの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄港時の港湾施設の一般開放の検討 ・ 市町等の広域連携によるおもてなしの取組への支援 ・ 外国クルーズ船寄港時における消費税免税店の設置検討・実施 □ 大型船寄港環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩国港をモデルとした大型クルーズ船の航行安全の検討、係留施設の改修
----	--

工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度	平成28年度
	県、市町、関係機関が一丸となった誘致活動の推進	クルーズやまぐち協議会の設置・第1回協議会の開催(7月)		ワンストップ窓口の設置(4月) 第2回協議会の開催(1月)	ワンストップ窓口の設置(4月) (年2回程度開催)

取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度	平成28年度
	船社等への港湾情報、観光地、各種イベント等の情報発信、戦略的なセールス活動の展開	専用ホームページの開設(4月)	情報発信会の開催(11月) クルーズ向け周遊ルートの開発(11月) 寄港ガイドブックの作成 日本語版(11月) 外国語版(3月)	内容充実 船社等への戦略的なセールス活動の展開 情報発信、セールス活動に活用
寄港時におけるおもてなしの向上		寄港時の港湾施設の一般開放の検討(3月) 【岩国港をモデルに検討】 市町等の広域連携によるおもてなしの取組支援	岩国港で一般開放の実施(4月) 消費税込免税店の設置検討・実施	引き続き全県での実施を検討
大型船寄港環境の整備	岩国港の航行安全の検討・委員会の開催【7万トン級、13万トン級で検討】	第1回(2月)	第2回 大型船(7万トン級)の寄港が可能(11月) 大型船(13万トン級)の寄港に対応した係留施設の改修	
シンガポール(10月)	海外見本市への参加	米国(3月)	米国(3月)	県産品等の売り込み

事業の概要

全県推進体制の整備



「ワンストップ窓口」の設置 (H26.4) 「クルーズやまぐち協議会」の設置 (H26.7)

誘致活動の推進

情報発信会の開催 (東京H26.11)

海外見本市への参加 (マイアミH27.3)

クルーズやまぐち 寄港ガイドブック

寄港ガイドブックの作成
日本語版H26.11
外国語版H27.3

おもてなしの向上

”クルーズやまぐち” おもてなし向上事業(平成27年度～)

- 【事業概要】
- 複数の市町等が連携して実施するおもてなしの取組への支援
 - 寄港時の港湾施設の一般開放に伴う保安対策

市町等の広域連携

港湾施設の一般開放による市民参加イベントの開催

ウェルカムセレモニー・伝統芸能の披露

Japan. Tax-free Shop

寄港時における免税店の設置検討・実施 (H27以降)

大型船寄港環境の整備

7万トン級 (サン・プリンセス 等)

13万トン級 (マリナー・オブ・ザ・シーズ 等)

クルーズ船寄港回数の倍増

大型クルーズ船(7万トン級以上 定員1000人超)の県内初寄港の実現